



教育振興だより

八幡平市教育委員会
教育振興運動推進事務局
令和7年3月号 No.3

協議会の解散を決定！ キョウシンは理念として継続

臨時大会に139名の参加！

去る2月15日(土)西根地区市民センターで本協議会の臨時総会が行われました。休日にもかかわらず市長、教育委員、社会教育委員、学校関係、コミセン等地域関係者、多くの保護者が集まりました。

会は表彰、発表、臨時総会と続き、推進協議会を解散するという重大な提案が拍手で承認されました。



子どもを地域ぐるみで育てる

キョウシンの組織はなくなりますが、大事な活動はもちろん続けます。子ども会・育成会・実践班といった子ども組織での活動には地域が関わり、支えます。「子育てを「孤」育てにしない」という精神は変わりません。

| | | |
|----|-------|--------------------------------|
| 開会 | 9:45 | 1 開会(藤野高嗣副会長) |
| | | 2 会長挨拶(伊藤喜代美会長) |
| | | 3 祝辞 市長 佐々木孝弘様 |
| 表彰 | 9:55 | 表彰 ・三行詩 ・児童生徒表彰 |
| 発表 | 10:20 | 平舘高校 家政化学科2年 向井麻衣 向井陸 工藤怜大成 |
| | 10:35 | 休憩 |
| 報告 | 10:45 | 子どもに豊かな体験を 事務局 |
| 協議 | 11:00 | 協議 議長 (伊藤会長) |
| | 11:55 | 閉会の言葉(関宏典副会長) |

三行詩は協議会長賞 金賞受賞者の6名の方を表彰しました。
児童生徒表彰は8名と2団体を表彰しました。

「紫薫枕をつなぐ」今年度の岩手県家庭クラブ研究発表会において最優秀賞を受賞した発表です。「ムラサキ」を原料とした紫紺染めを生かし、福祉に貢献する一連の取組みです。

保護者・地域関わった活動のようすを報告しました。特にコミュニティセンターの連携による活動には目を見張るものがあります。今後の連携を期待します。

解散の主な理由は、教振として始まった活動がPTAや学校や地域など他の仕組みに位置づくようになり、組織がなくても活動を継続できる状態にあることです。

改革のポイント

1. 市教育振興運動推進協議会を解散し、地域の教育を社会教育として推進
2. 教育振興運動各実践区の活動と組織の見直し
3. 学校運営協議会で子どもの教育について総合的に検討(協議と情報共有)
4. 推進体制の整備(令和7年度は教育総務課 令和8年度からは社会教育担当課)



第3回常任委員会

3月3日(月) 市役所で開催し、18名が出席しました。(感謝)

主な話題 ①活動費の支給。・従来の実践班単位とし、申請に対して支給を検討

・4月の副校長会議、5月の子ども活動研修会で説明する

次年度事業

| 月・日 | 事業・行事 | 場所 | 内容 |
|-----------|------------|---------------------------|------------------------|
| 4月18日(金)～ | 三行詩巡回展 | 市内コミセン | 入賞作品の展示 |
| 5月13日(火) | 子ども活動研修会 | 西根地区市民センター 15:00～16:45 | ワークショップ 「子どもの喜び」 |
| 6月19日(木) | 子ども活動支援交流会 | 寺田コミセン 10:00～11:45 | 子ども活動相談窓口 担当者の情報交換会 |
| 6月10日～9月末 | 三行詩コンクール | 各学校 コミセン | |
| 10月25日(土) | 漢字検定 | ※ 未定 | |
| 1月31日(土) | 漢字検定 | ※ 未定 | |

三行詩 入賞作品決定

1079作品から選ばれた6作品を紹介します。すべての入賞作品が掲載された「入賞作品集」は各コミセン、八幡平市 HP 等で見ることができます。また、春から夏にかけて巡回展をする予定です。

新しい発見があるものだ
親子それぞれ
親は子を見て 学んで
子は親を見て 成長して

中学生の部 金賞



お父さんがとった動画
必ず はいっている言葉
「頑張れ！」の一言

小学校高学年の部 金賞

きょうもだれかがふんづけた
ほくのおもちやで
けがするおとな



協議会長賞

夢を失くして 前が見えなくなっても
暗闇の先に 見える光
いつも見てきた
親の背中がそこにある

高校生の部 金賞



さいたさいた あさがおさいた
まいあさげんきにいっぱいさいた
それみて みんなのえがおもさいた

小学校低学年の部 金賞



褒めたいんだよ 本当は
「勝つ」ための「喝」
いずれ分かってくれるかな

一般の部 金賞